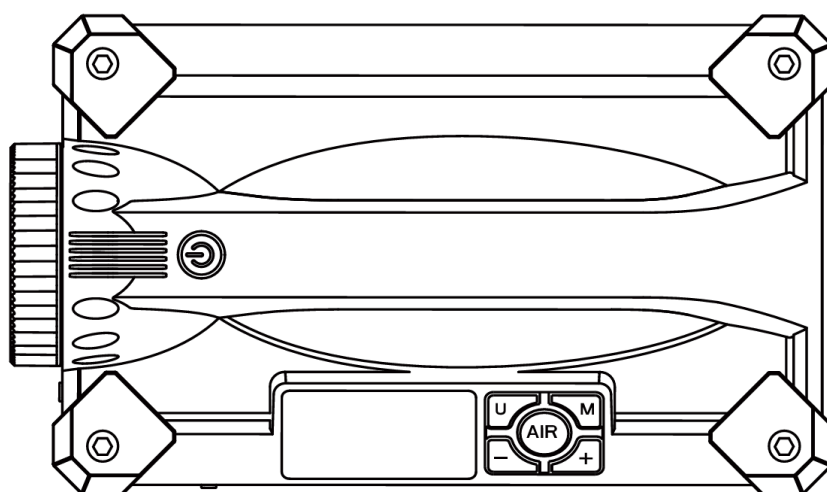


5 in 1 多機能ジャンプスターター M6

取扱説明書

20000mAh



この度、当社製品をお選びいただきありがとうございます！

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

お読みになった後は、大切に保管してください。

この取扱説明書の製品イラストは説明のみを目的としています。

安全上の注意

- 本製品をお買い上げ後開封時に、万が一異音・発熱・異臭・そのほか異常がある時はで使用をおやめください。異常がある状態のままで使用になった場合、発火・爆発の原因になるおそれがあります。
- 本体充電用ケーブルを無理に曲げたり、上に物を乗せたりしないでください。コードが破損して感電・発熱・発火のおそれがあります。
- 本製品および付属品について、分解・改造は絶対に行わないでください。
- 本製品の誤った使用方法、分解、改造をしてのご使用等による事故・故障・破損等につきまして当社は一切その責任を負いかねます。
- 濡れた手で製品本体または端子部分、コネクタ部分に触らないでください。感電やショートの原因になります。
- 本製品のジャンプスタートケーブル接続口や USB 出力ポート、充電器の USB 出力ポートや DC プラグ部分などを指や金属のピンで触れたり、ゴミ・ほこり・異物等を付着・接触させないでください。感電やショートの原因となります。
- 本製品は防滴・防水加工されていませんので濡らさないでください。万が一濡れた場合はただちに使用をやめてください。
- 本製品は家庭用機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、高い信頼性を要求されるシステムには使用しないでください。
- 本製品および周辺で、エアダスターやダストスプレーなど、可燃性ガスを使用したスプレーを使用しないでください。引火による爆発、火災の原因となります。
- 引火や爆発のおそれがある場所や引火性ガスの発生するような場所での使用や保管はしないでください。
- 本製品を火中に投入したり、加熱したりしないでください。風呂場やシャワー室などでは使用しないでください。
- 電子レンジなどの加熱調理機器や、高圧容器に入れないでください。走行中に本製品の操作を行わないでください。
- 不測の事態を避けるためにも、本製品使用中は、本製品や車両から離れないでください。
- 本製品使用の前に車両のサイドブレーキを引く/ギアをパーキングまたはニュートラルに入れる等、誤って車両がき出さないよう安全を確保してください。
- 本製品をご使用の際は、ファンベルト等にケーブルが巻き込まれないように、十分注意をしてください。
- 本製品をご使用の際は、車載バッテリーが極度に劣化または過放電している場合は、ジャンプスタートをしないでください。
- 本製品を車載バッテリーの代用として使用しないでください。また、本製品を走行中に操作しないでください。
- 製品本体とジャンプスタートケーブルを接続したまま保管しないでください。
- 車載バッテリーへの逆接続は大変危険ですので絶対におやめください。
- 定電流および定電圧充電。逆充電はできません。
- 充電時に充電器と本製品に一定の熱が発生する場合がありますが異常ではありません。
- 製品をショートさせたり、コイン、宝石、鍵、その他の金属製品と一緒に保管したりしないでください。

リチウムイオン電池の取り扱いについて

- 本製品はリチウムイオン充電電池を内蔵しています。充電電池は、可燃物を使用していますので、取り扱いを誤りますと破裂・発火・発煙のおそれがあります。また、性能低下、故障の原因となります。下記の注意事項を必ずお守りください。本製品の充電電池の交換はできません。お客様で自身による交換は危険ですから絶対におやめください。
- 炎天下や火気のそばでのご使用はしないでください。振動や衝撃を与えたり、投げつけたり落としたりしないでください。
- 充電の際に、目安となる充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめてください。充電電池の液漏れ、発熱、発煙、破裂など、発火の原因になるおそれがあります。
- 充電電池が液漏れしたり、異臭がしたりするときは、ただちに使用をやめて火気から遠ざけてください。液漏れした液体に引火し、発火、破裂の原因となります。
- 充電電池の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。失明や皮膚に障害を起こす原因となります。液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また目や口に入った場合、皮膚に付着した場合は、洗浄後ただちに医師の診断を受けてください。
- ご使用中や充電の際に本製品が膨らんだり、すぐに熱くなる場合は使用を中止してください。
- リチウムイオン電池は一般ゴミで処分することはできません。処分の際は、市区町村の区分にしたがってください。または、分解等せずリサイクル協力店へお持ちいただき、リサイクル回収を行ってください。

行ってはいけない内容

- DC12V バッテリー搭載の自動車およびバイク用の機器(ジャンプスターター)です。他のバッテリーやこの取扱説明書に記載されていない目的以外でのご使用は行わないでください。
- 24V 車(トラック等)にはご使用になれません。火災や故障の原因になりますので絶対におやめください。本製品をポケットやバッグの中に入れたまま使用・保管しないでください。
- 直射日光の当たる場所や、ストーブ、ヒーターなどの発熱機器のそば、炎天下の車内など温度の高いところで使用、保管・放置はしないでください。変形、故障の原因となったり、内部の温度があがり、火災の原因となる場合があります。
- 温度変化の激しい場所(クーラーや暖房器具のそばなど)や氷点下になる車内などで保管、放置はしないでください。本製品の内部に結露が発生し、火災、感電、故障の原因となります。
- 調理台のそばなど、油飛びや湯気当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 車両のトランクなど振動・衝撃の多い場所には保管しないでください。やむをえず保管する場合は、付属のケースに収納し、クッションなどで振動・衝撃を与えないようにしてください。
- 本製品を落下しやすい場所で使用したり、上に物を乗せたり布等をかぶせた状態で使用しないでください。落下や破損などによりけが・感電・発熱・発火のおそれがあります。
- LED の光を直接見ないでください、また、他人の目に向けて照射しないでください。
- 本製品を充電しながらジャンプスターターとして使用しないでください。

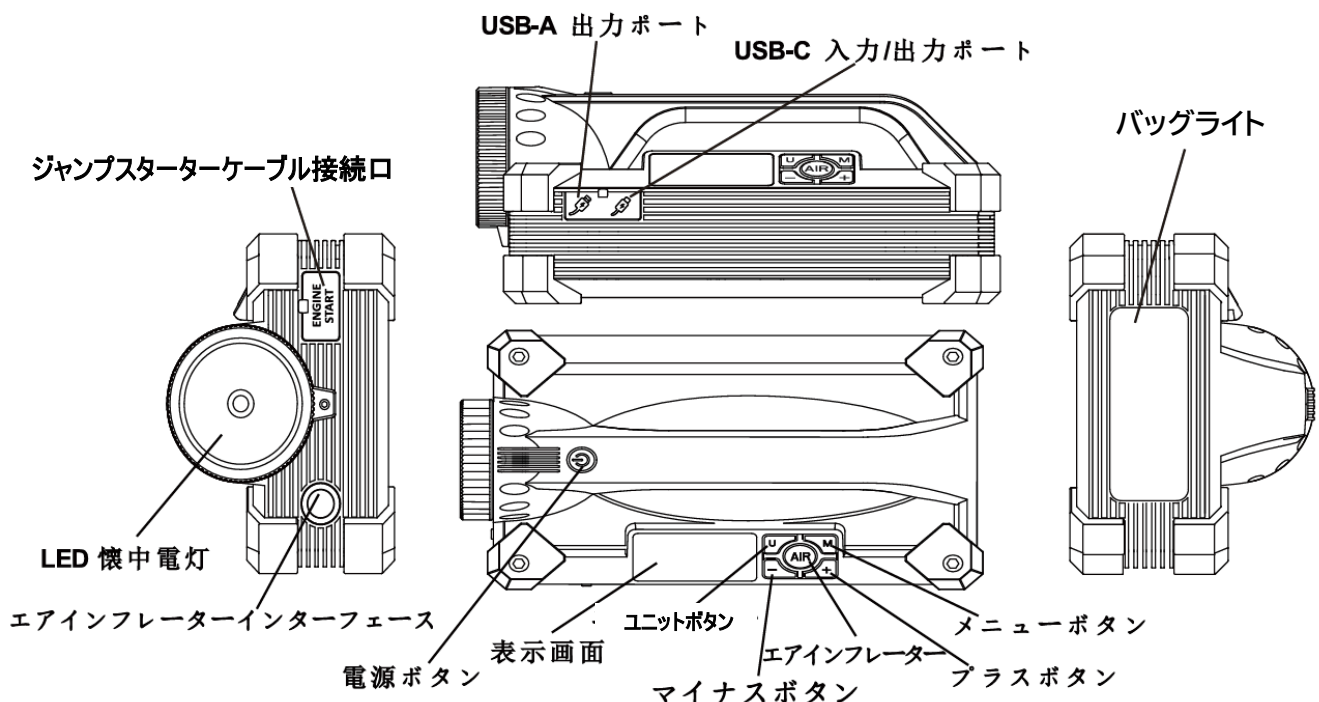
必ず実行していただく内容

- 本製品を使用する際は、貴金属類(指輪・ネックレス・時計など)は外してください。
- 本製品のジャンプスタートケーブルを車両バッテリーに接続の際は、必ず車両バッテリーのプラス(+)とマイナス(-)を確かめて、車両バッテリー端子へジャンプスタートケーブルのプラス端子クリップ(赤)から先に取り付け、次にマイナス端子クリップ(黒)を確実に接続してください。
- 1 回の始動で3秒以上セルモーターを回さないでください。再度セルスターターを回す際は 1 分以上間隔を開けてください。
- セルスタートを 2 回行ってもエンジンがかからない場合は使用を中止してください。
- 本製品は自然放電などによりで使いただけでない場合があります。バッテリー残量インジケーターをで確認いただき、ご使用前に改めて充電してからご使用ください。
- 本体充電用ケーブルやジャンプスタートケーブルは引っ張らずに、かならず Type-C 端子部分や本体接続用コネクタ部分を持って、製品本体からの抜き差しを行ってください。
- 機器によっては充電中に、充電開始と終了を繰り返す場合があります。その場合は充電を続けても効果があがらないため、本製品を機器からはずして充電を中止してください。
- コネクタ部に大きな力がかかると接触不良を起こしたり、端子が破損するおそれがありますので、コネクタ(USB/Type-C)はまっすぐに抜き差ししてください。
- 本製品を充電する場合、結束バンド等でコードをたばねず、のばした状態で充電してください。
- 使用環境温度が -20℃～60℃の範囲でご使用ください。
- お子様の手の届かない場所での使用・保管を行ってください。
- 本製品を使用し、万が一機器の故障やデータ等の消失、バッテリーパックの破損等が発生した場合、当社では一切その責任保証は負いかねます。あらかじめでア承のうえ必ずデータ等をバックアップしてからで使用ください。
- 長期間使用されない場合は、定期的(1～3 ヶ月毎)に充電を行ってください。

安全上の注意

- クランキング電流(※)の大きな車両、単気筒エンジン/2気筒エンジン/ロングストロークエンジン/高圧縮エンジンターボチャージャー装着車、スーパーチャージャー装着車、4輪駆動車、寒冷地仕様車等や、大容量バッテリーを使用している大型車両等、車両バッテリーのコンディションなどにより、製品仕様に記載した条件を満たした車両でもジャンプスタートができない場合があります。(※クランキング電流:エンジンを始動させるセルモーターを動かす為に必要な電流値)
- スマートフォンや電子機器、USB 機器によっては充電や電源供給できない場合があります。
- 機器の照明を点灯した状態で充電したり、起動した状態で充電した場合、充電時間が長くなったり充電完了しない場合があります。照明と機器は OFF にしてから充電してください。
- 機器によっては本製品で充電しながら音楽再生できない場合があります。
- 機器の充電中に長時間の通話やアプリケーションの使用等を行うと電池パックの劣化や寿命を早める原因になります。また熱くなった機器に長時間触れると肌が赤くなったり、かぶれ等を引き起こす場合がありますのでご注意ください。
- 機器によっては、充電異常警告のマーク「!」やメッセージが出る場合があります。その場合は本製品を機器から外して充電を中止してください。
- 充電時間は機器や充電の状況によって異なります。本製品を使用中に万が一、携帯電話・オーディオプレーヤー本体の故障やメモリ内容の消去、またはバッテリーパックの破損等が発生した場合、または車両の不具合が発生した場合、当社では一切その責任・保証等は負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の障害については当社はその責任を負わないものとします。

各部の名称



ご使用する前に

バッテリー残量の確認

1. 電源ボタンを押して、バッテリー残量インジケータを点灯させます。
2. バッテリー残量インジケータの点灯状態で、バッテリー残量を確認します。
3. 3.電源ボタンを押してから約60秒でバッテリー残量インジケータは自動で消灯します。

ご注意

※、本製品をお買い上げ後に初めてで使用する際は、必ず充電を行なってください。

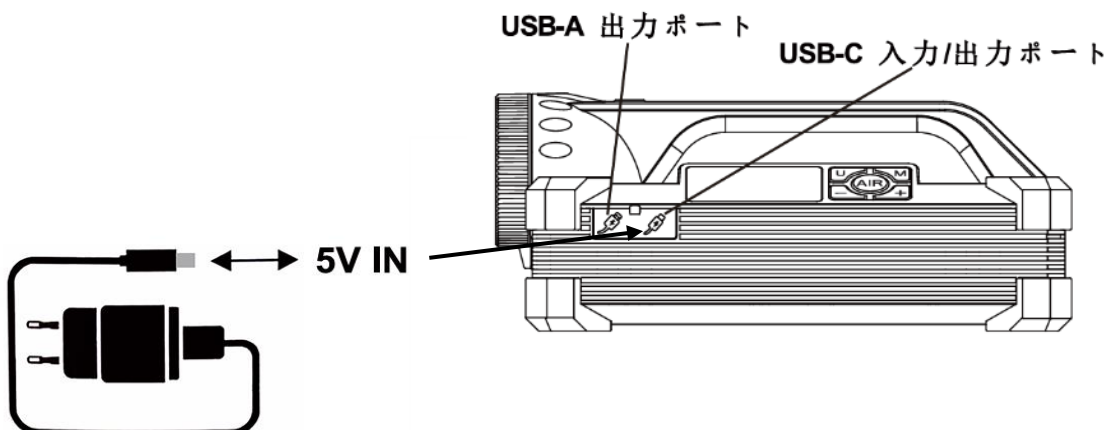
※、電源ボタンを押してもバッテリー残量インジケータが点灯しない場合、充電を行ってから再度操作を行ってください。

製品特徴

- 1, DC12V バッテリー搭載の自動車やバイクの、バッテリー上がりの際のエンジン始動を補助します。
- 2, 20000mAh リチウムバッテリーを内蔵。小型・軽量で携帯性に優れた設計です。
- 3, 保護回路ボックス付きジャンプスタートケーブルを付属しています。
- 4, USB 出力ポート付きで、スマートフォンやモバイル機器の充電が可能です。
- 5, 暗い場所での作業や緊急時に便利な高輝度ホワイト LED ライトを搭載しています。
- 6, USB 機器からの充電が可能な、本体充電用ケーブルを付属しています。
- 7, 製品本体と付属品をスマートに収納可能なケースを付属しています。

本製品への充電方法

- 1, 充電用ケーブルの USB 端子を、充電器(別売り)に挿し込みます。
パソコンでの充電はおやめください。充電用ケーブルは束ねた状態で使用しないでください。
 - 2, Type-C 端子を、本体の充電用 Type-C ポートへ接続します。
 - 3, 本体の充電が開始されます。
- 満充電状態を確認後、Type-C 端子を本体充電用 Type-C ポートから取り外します。



ジャンプスターターの使い方

- 1, 製品本体の端子カバーを開けます、製品本体の端子カバーを無理にひっぱるとちぎれる場合がありますのでご注意ください。
- 2, ジャンプスターケーブルの本体接続用コネクタを、製品本体のジャンプスタートケーブル接続口へ接続します。
- 3, 保護回路ボックスの LED の状態が、緑色/赤色に交互点滅していることを確認します
- 4, ジャンプスターケーブルのプラス端子クリップ(赤色)を車載バッテリープラス端子(+)に接続します。
- 5, ジャンプスターケーブルのマイナス端子クリップ(黒色)を車載バッテリーマイナス端子(-)に接続します。
- 6, 保護回路ボックスの LED が緑色の点灯になったこと(ジャンプスタート準備完了)を確認してください。

保護回路ボックスの LED が緑色に点灯後、定期的に「カチ・カチ」というリレーパーツの機械音がしますが故障ではありません。

- 7, 保護回路ボックスの LED が緑色の点灯になってから 30 秒以内に、セルスターターを回してエンジンを始動させます。

接続後、約 30 秒間エンジンの始動を行わずに無負荷状態が続くとオートパワーストップ機能が働き、出力電流を自動的にストップし保護回路ボックスの LED が赤色に点灯します。

- 8, エンジンを始動した後、ジャンプスタートケーブルのマイナス端子クリップ(黒色)を車載バッテリーマイナス端子(-)から外します。

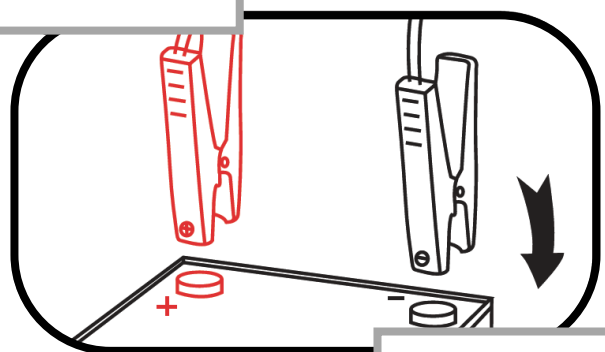
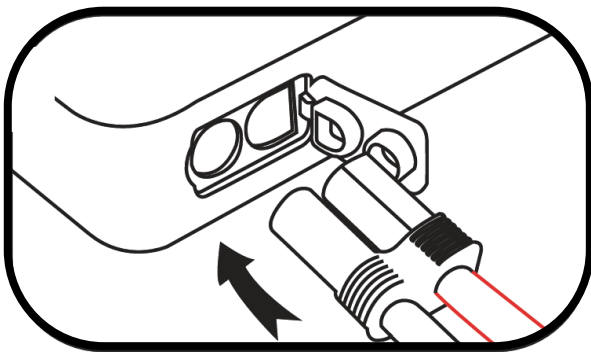
- 8, ジャンプスタートケーブルのプラス端子クリップ(赤色)を車載バッテリープラス端子(+)から外します。

- 10, 製品本体のジャンプスタートケーブル接続口から、ジャンプスタートケーブルの本体接続用コネクタを外します。

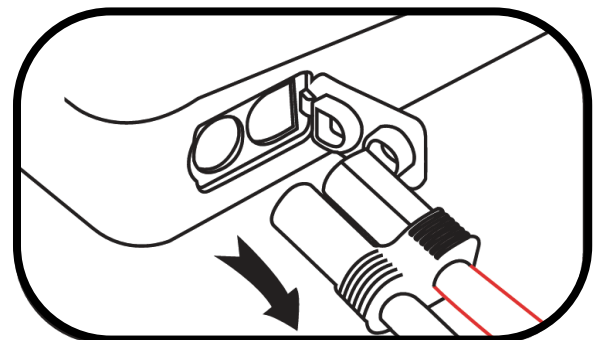
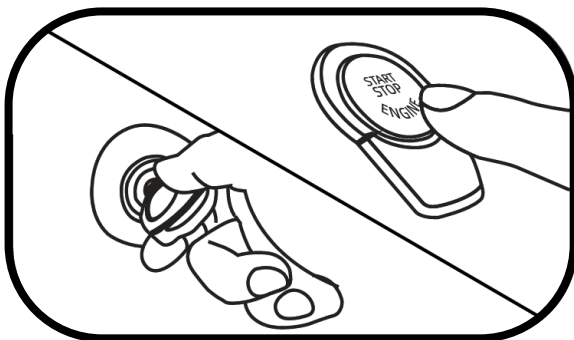
- 11, 製品本体の端子カバーを閉めます。

ジャンプスタートを行った後、製品本体の電源ボタンを押してもバッテリー残量インジケータが点灯せず、USB ポートの通電や LED ライトの点灯が行えない場合、製品本体の保護機能が作動している状態です。製品本体を充電することで保護機能が解除され復帰します。

赤いクリップは車のバッテリーの
プラス端子に接続する



黒いクリップは車のバッテリーの
マイナス端子に接続する



警告！

車載バッテリーへの逆接続は大変危険ですので
絶対におやめください。

エアポンプの使い方

充填手順:

- ① 必要に応じて、対応するノズルを取り付けます。
- ② エアポンプインターフェースにエアホースを接続します。
- ③ 本製品の電源ボタンを押して起動し、M ボタンを押して必要なインフレーター種類を選択し、必要な場合は「+」と「-」ボタンを押してタイヤ空気圧を調整します。
- ④ 「ユニットスイッチ」を押して、BAR、KPA、KG/cm²、PSI など単位を選択します。
- ⑤ 「AIR」ボタンを押して充填開始します。
- ⑥ ディスプレイに現在の空気圧が表示され、設定された数値に到達したら自動で停止します。
手動で停止させるには「AIR」ボタンを押します。

※「M」ボタンを長押しして、エアポンプの工場出荷時の設定に戻すことができます。

●適正空気圧について

自転車タイヤの場合→タイヤ側面

自動車タイヤの場合→運転席ドアの開口部など

に適正空気圧が書かれています。積載重量(重い場合は高め)や季節(夏場は低め)を考慮して空気圧を入力してください

必ず先に空気圧の設定をしてから空気入れを行ってください。
適正空気圧範囲を過度に超えて空気を入れると、タイヤの破裂、本体の故障、ケガなどの原因となり大変危険です。

●空気入れ中のご注意

作動中は本体をしっかりと持ち、空気圧を確認しながら空気入れを行ってください。

※本体を持つ際、通気口をふさがないようにご注意ください。

※本体を連続して作動させていると、エアホースや本体が熱を持ちます。異常に熱くなった場合は作業を一時中止し、エアホースや本体が冷却してから再開してください。

※本体やバルブに顔を近づけないでください。思わぬ事故の原因となります。

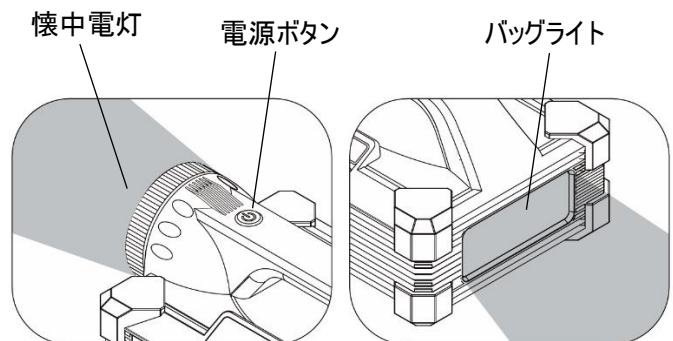
LED ライトの使い方

【操作方法】

「電源ボタン」を長押しして製品を起動します。

「電源ボタン」を押して LED ライトをオンにし、続けて押す度に 次のようモードに切り替わります。

- ①懐中電灯をオン
- ②懐中電灯 SOS モードオン
- ③フラッシュモードオン
- ④バッグライトオン
- ⑤ライトオフ



ご注意: ライトを絶対に目に向けて照射しないでください。

モバイルバッテリーとしての使い方

- 1, USB 出力ポートに、ご使用になる USB ケーブルの USB 端子を接続します。
※USB ケーブルは束ねた状態で使用しないでください。
- 2, USB ケーブルと、ご使用になる USB 機器を接続します。
- 3, 本体電源ボタンを長押しすると、バッテリー残量インジケータが点灯し USB 出力開始します。
- 4, 使用後は USB 出力ポートから USB ケーブルを取り外します。無負荷状態が約60秒続くとバッテリー残量インジケータが消灯し US 出力が OFF になります。
※ジャンプスタートを行った後、製品本体の電源ボタンを押してもバッテリー残量インジケータが点灯せず、USB ポートの通電や LED ライトの点灯が行えない場合、製品本体の保護機能が作動している状態です。製品本体を充電することで保護機能が解除され復帰します。

製品仕様

バッテリータイプ	リチウムイオンバッテリー
バッテリー容量	20000mAh
USB-A OUT	5V□3A/9V□3A/12V□3A/15V□ 3A/20V□5A (PD65W)
USB-C IN/OUT	5V□3A/9V□3A/12V□3A/15V□ 3A/20V□5A (PD65W)
ジャンプスターター出力	DC12V/300A～500A
ジャンプスターターケーブル長さ	プラス端子側:約17cm マイナス端子側:約13cm
本体充電時間	約9時間
充電可能回数	約500回
使用温度範囲	－20℃～60℃
本体サイズ	約256×145×105mm
重量	約1350g
充電用ケーブル長さ	約90cm
エアホース長さ	約50cm

